



市政羅針盤

市長が自ら、市政運営の方針を分かりやすくお伝えします。 〇秘書課 ☎ 36-7117

今月のテーマ 若い世代に選ばれるまち島田になるために

今月は、島田市在住の若い世代が「住む場所を見極めるときに最も重視する点」に関するアンケート結果を紹介し、若い世代の人口を増やすために市がどのような施策を展開しているのか、その方向性についてお話ししたいと思います。

市では毎年、市民意識調査を実施していますが、居住地を選択する際の価値観が最も顕著に現れる「住む場所を決めるときに最も重視する点」という質問に対して、若者世代(20～24歳)の回答で最も多かったのは「買い物をする店の多さ、近さ」(80.0%)でした。子育て世代(25～34歳)の回答では「安全・安心な場所」(65.1%)、「交通の便が良い」(61.8%)が上位です。「若い世代」と一括りで言っても、年齢を重ねると価値観が変化していくことや、20歳代前半と子育て世代の間では大きな相違があることが分かります。

さらに、県立大学の学生を対象に実施した20代前半へのインタビュー調査では、「大学卒業後の居住地は就職先を考慮して決める」「ショッピングモール、コンビニが近くにほしい」「遊ぶ場がほしい」など、目の前の利便性を重視した回答が目立ちました。

次に子育て世代へのインタビューでは、「子どもができて生活が大きく変わった」「出産を機に価値観が変わった」という声が多数上がっています。これらの結果から、若者世代から子育て世代へと価値観の大きな変化をもたらす要因として、「出産」という人生の一大イベントが大きく関与していることが伺えます。さらに「島田市は安全で静か、子育てに適した環境がある」「現状の島田市の子育て支援・サービスに満足している」「生活をする上で必要な店はそろっている」という声をいただき、当市は子育て世代に高く評価されていると受け止めています。

インタビュー調査から、若者世代にとって魅力的な島田市にするには、働く場所を増やすだけでは不十分で、若者世代の価値観に合ったまちづくりが必要となります。しかし、買い物する場所や遊ぶ場所の多さで、島田市が優位になるとは思えません。

私は、島田市にないものを揃えるより、当市が持って

いる地域性や安全・安心なまちであることに磨きをかけ、子育て世代に手厚い施策を展開することで選ばれるまちになることを目指しています。それこそが、若い世代の定住人口増に繋がると考えるからです。

私は、これから地域を担う若い人たちに、ずっと地域にとどまり続けてほしいと願っているわけではありません。むしろ、地域を離れ、知見を広げることによって、地域を俯瞰できる視点を養ってこそ、地域に貢献できるものと思います。一度島田を離れた若者でも、祭りや地域行事、ボランティアなどに関わる経験をしていれば、達成感や、やり甲斐を実感した場所に戻ってくると考えています。市内には、5つの高校があります。高校在学の間、大人とともに汗を流し、地域活動やインターンシップなどで達成感を感じられる場面を用意することが、私たち大人の役割ではないでしょうか。意志をもって地域に関わりようとする若者が増えることが、持続可能なまちづくりの第一歩です。

島田市では、地域で働く大人の姿や働く喜び、大変さをリアルに伝えていく高校生対象の「人材育成プラットフォーム」を設立しました。高校生のうちから、自分の将来を真剣に考えられる若者の育成が急務です。教育環境を整えることや子育て支援、移住定住の支援などの施策を重層的に展開するとともに、民間と連携して次の世代の人材を育成することも、行政の大きな役割となっています。



対面販売の業務を「和菓子バル」で体験する高校生

ロボットのプログラミングを中学生に指導する高校生

